

平成 30 年（2018 年）4 月 28 日

出演団体各位

札幌地区吹奏楽連盟
ライラックまつり担当 郷
(札幌市立常盤小学校)

第 60 回『さっぽろライラックまつり』諸連絡とお願い

1. 実施日 平成 30 年（2018 年）5 月 19 日（土）・20 日（日）

2. 当日の動きについて（別紙の会場周辺図を見ながらお読みください）
 - ①会場（大通 6 丁目）に到着したら、代表者の方は吹奏楽連盟本部までお越しください。受付とトラック補助金をお渡しします。
 - ②**トラックから楽器を降ろし、下手側のテントを通過して、下手側の楽器置き場に搬入**してください（芝生の上に楽器を置くことはできません）。なお、あまり早く会場に到着されますと、楽器置き場が混雑します。30 分前くらいをめぐりに集合してください。
 - ③楽器を降ろし終わったら、道路混雑緩和のため**トラックは一度会場周辺から待避**してもらいます。演奏終了時間を伝え、**10 分前くらいをめぐりに戻って**きてもらってください。もしもの時のためにドライバーの連絡先を把握しておくで安心です。
 - ④ケースから楽器を出します。出し終えた後、**演奏終了後の動線をスムーズにするため、上手側の楽器置き場に、できるだけ詰めて（省スペースで）ケースを置いて**ください。なお、上手側楽器置き場が混雑している場合には、下手側での保管も可とします。
 - ⑤芝生の上で音出しをすることは可能です。演奏している団体や観客への配慮として、ステージからできるだけ離れ、小さい音量でお願いします（例年苦情がでできます）。なお、合奏やパートでの合わせは禁止とします。
 - ⑥**前の団体の発表が始まったら、下手側の自動販売機前に集合・整列**してください。誘導係はおりませんので、各団体で把握してください。
 - ⑦**セッティングを含め 20 分**で設定しております。また、セッティングの補助はおりませんので、各団体で責任をもってステージへの搬入および搬出をお願いいたします。
 - ⑧演奏が終了したら上手側に抜け、楽器をケースにしまします。その後、**上手側テントを通過して搬出**になりますので、ドライバーにその旨お伝えください。

3. こちらで用意できる物、団体に用意していただく物

- ①譜面台（指揮者用も含め）と打楽器は、各団体でご用意ください。
- ②マイクはMC用1本、演奏者用5本（いずれもスタンドつき、コードタイプのもの）を用意しております。移動可能です。音量調節は音響卓で一括操作ですので御安心ください。
- ③電源や椅子は用意します。使用される場合には、舞台配置図にてお知らせください。

4. その他

- ①ステージマネージャーと総合司会（ブロス）を配置しております。演奏後、撤収時間を利用して総合司会がインタビューをしますので、**事前に決めてあるインタビューを受け**る方に、**指揮者のあたりに移動**するよう伝えておいてください。
- ②最初の団体名紹介までは総合司会が行いますが、曲紹介等は各団体でお願いします。また、演奏終了後、次団体がスムーズにセッティングに入れるように打楽器や譜面台の撤収等、事前に計画し、各団体においてできるようにしておいてください。（例年、動けない新入部員がたくさんいます。入念な御指導を！！）
- ③雨天等での中止判断（全日）は午前8時に現地で行います。中止が決まった場合には、出演順に連絡をしていきます。小雨決行後、本降り等で中止判断を行う場合は随時となります。
- ④運搬補助費（15,000円）は受付で代表者の方にお渡しします。雨天中止の場合でも事前準備にかかった費用として補償しています。この場合7月の代表者会議（コンクール抽選）の際にお渡しいたします。ただし、コンクールに出場されない団体は振り込みとなりますので、あらためて連盟からご連絡致します。なお、1日目全日中止で2日目実施の場合は、1日目出演団体の代表者が2日目の現地で運搬補助費を受け取ることは可能です。

5 当日までのお問い合わせ先と期間中のお問い合わせ先

当日まで...札幌地区吹奏楽連盟 ライラックまつり担当 郷 健志

☎ 090-7650-3923 Fax 011-591-604

期間中（郷につながらない場合）...6丁目会場運営本部 ☎ 011-251-8771(佐藤様)

さっぽろライラックまつり実行委員会からのお願い

会場となる大通西6丁目内で個別に定期演奏会等のチラシ配布やチケットを販売することは控えてほしいという通達がありましたのでご協力の程、よろしく申し上げます。

※出演団体のMCが発表時に演奏会等の宣伝をするのは構いません。

風対策必要です！譜面台の転倒防止～初めて出演される団体へ

当日は強い風が吹くこともあり、楽譜が風で飛ばされる、譜面台が倒れる…などの事故が発生します。

暗譜する、ポケットファイルを使う、クリップではさむ、譜面台を足で押さえる、高くて倒れやすい譜面台には砂袋で重しをするなど、様々な工夫をすることで安心して演奏に臨めます。